

令和5年度

地域とともにある学校づくり

保谷小学校

3年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： **ビオトープたんけんたい～生き物が住む保谷小自慢のビオトープを作ろう～**
(活動名)

ねらい： 保谷小のビオトープの生き物や植物に関する調査活動を行い、そこから課題を見出し、解決に必要な情報を収集し、目的に応じて比較・分類・関連付けて考える力や相手意識・目的意識を明確にして表現する力を育てるとともに、すすんで生き物や人々と関わったり、生き物が暮らしやすい環境に改善したりしようとする態度を育てる。

【1学期①】

まず、保谷小のビオトープを見に行きました。子どもたちには、「三角池」という愛称で親しまれているビオトープですが、生き物が少ないことや、草が生い茂っている状態を見て、「きれいにしたい。」「もっと生き物を増やしたい。」という感想をもちました。

そこでまずは、現在いる生き物や植物について調べてみることにしました。

【1学期②】

子どもたちは、ビオトープの生き物や植物について調べていく中で、保谷小のビオトープの環境に適した生き物や植物が生えていることが分かりました。生き物同士の食物連鎖の関係など深く情報を収集し、まとめ、分かったことを発表し合いました。

そして、今のビオトープの生態系を壊さずにどのような生き物を増やすことができるか考えていきました。

【2学期①】

子どもたちは次に、保谷小のビオトープのよさをもっとみんなにも伝えたいという気持ちをもちました。そこで、これまで調べてきた生き物や植物に関することやビオトープのよさについてスライドや新聞、ポスター、校内放送など自分が表現したい方法を選び、2年生や全校に伝えることにしました。



【3学期】

地域でビオトープに詳しい方がお手伝いくださることになり、ビオトープの掃除や手入れ、よりよい池のデザイン等を一緒に考えてくださることになりました。子どもたちは、ビオトープの先生との関わりを楽しみしています。

まとめ

昆虫などの生き物が好きな子どもたちだったこともあり、興味・関心をもって探究活動を行うことができました。地域の方との関わりの方では、なかなか人材が見つからず苦慮しましたが、その分、子どもたちは、自分たちで調べて情報を収集し、それを自分たちで発信していく力に繋がったと思います。